

令和3年9月17日

# 二宮町教育委員会議録

( 定例会・臨時会 )

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 9時30分
- 2 閉会時間 11時32分
- 3 教育長名 森 英夫
- 4 署名委員 岡野 敏彦
- 5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	渡辺 優子
○	教育委員	野谷 悦
○	教育委員	岡野 敏彦
○	教育委員	山内 みどり

- 6 出席者氏名
- |              |       |
|--------------|-------|
| 教育部長         | 黒石 徳子 |
| 教育総務課長       | 下條 博史 |
| 教育総務課長代理     | 田中 明夫 |
| 生涯学習課長代理     | 竹本 直昭 |
| 教育総務課指導班長    | 安藤 通晃 |
| 教育総務課教育総務班長  | 大木 健司 |
| 教育総務課教育総務班主査 | 添田 理代 |
- 7 傍聴者 0名
- 8 調製者 教育総務課教育総務班主査 添田 理代

## 1 開会宣言

(教育長) 令和3年度9月定例教育委員会議を開催します。

## 2 署名委員の氏名

岡野委員を指名する。

## 3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 9月政策会議結果報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

○(岡野委員) 政策会議で報告されたメンタル面の問題については、表面には現れなくても本人が我慢している潜伏期間があると思うので、早めに気付けるようにすることはすごく大事なことだと思いました。一般企業でも同じような取り組みをしていて、仕事の内容問わず、すごく大事なことなのかなと感じました。また、子どもが学校に行きたくない課題も、ある種のメンタル面課題に入ると思います。学校の中では、何かが発生した時に、まず校長先生に迅速な第一報を集約するというのは、必要な体制なのかなと感じています。私は車の実験をやっていて失敗することがありますが、車の実験は人の命が関わってくるので、何かが起きたらまず、『これが起きました』と管理部門に一報を入れる仕組みになっています。学校の中では、これまでも取り組まれていることと思いますが、改めて再確認と徹底をお願いします。

○(教育長) コミュニケーションなども書いてありますが、本当に最大の危機管理になるかと思います。私からも伝えていきたいと思います。

○(山内委員) オンライン授業は5校がそれぞれで実施していると思うのですが、順調に進めている学校と、慎重に進めている学校の差があるのか無いのか、この資料からは分かりませんでした。どうなのでしょう。実施した内容や様子を活発に発信している学校と、あまり発信していない学校もあるかもしれませんので、詳しい状況説明をお願いします。5校がお互いにやり方をシェアしあい、学校の間で差がでないように先生が横の連絡を取り合っていければ良いのではないかと思います。

『Chrome bookの持ち帰りによるWi-Fi接続確認のお願い』『接続状況確認票』の中で、実際に学校と接続してみることが出来たらもっと良かったと思います。保護者から自分も使い方が分からず困りました、という声が聞こえてきます。せっかくここでオンライン授業が一步踏み出せたので、そこのケアを工夫していければいいなと思います。

英語で全国平均14%アップしたというのは、『英語が好きなのですか』それとも『英語の授業が好きですか』のどちらだったのでしょうか。

- （指導班長） 『英語の勉強が好きですか』に対して『当てはまる』が13%で、『どちらかという当てはまる』までを含めると14%になります。
- （教育総務課長） 先生のおっしゃる通り、温度差はまず中学校と小学校の温度差であります。一斉にやろうとすると、体制等を整えるに時間が掛かってしまうので、出来る学校、先生からやって下さい、とお願いしました。何故かという、9月1日時点でコロナの不安で来られなかった児童生徒が、学校によっては10名を超えていました。その児童生徒に、教卓にChrome bookを置いて黒板だけを映し、とりあえず配信する環境をいち早く作ろう、と呼び掛けました。それに伴うアンケートをしたり、Wi-Fi接続を土日で確認をしていました。結論からいくと、黒板を映し音声を流すというのは、決して学習保障にはならない、というのが先生方の気持ちです。二宮西中学校は、オンライン帰りの会『オンラインだよ！全員集合』をやったり、クラスルームで課題を出したりなどしていますが、授業に近い形で資料をやり取りする方が生徒の学びの保障になるということで、実はそちらの取り組みを始めているところです。また、二宮中学校の加藤先生のオンライン授業を二宮西中学校から4名の先生が視察に行ったと聞いていますので、中学校同士はかなり情報共有が進んでいます。一方で小学校は、繋がりというものを大事にしていると思うのですが、学校に来られないのにタブレットを貸し出して授業をやるべきかどうかというところで、やはり中学校とは少し温度差を感じています。一色小学校はオンライン授業ではなく、やったことを伝えていこうということでホームページに公開しています。
- （教育総務課長代理） 山西小学校と二宮小学校は、登校不安で欠席をしている児童に対して、放課後にオンラインで繋がって先生とやり取りをしたり、クラスルームを使って課題やメッセージのやり取りなどを行っています。学習保障では、どの学校もICTの活用が出来始めています。小学校の先生及び管理職の先生に、授業のライブ配信やオンライン授業はどのようなのでしょうか、と聞きました。小学校低・中学年の子が1時間のライブ配信を座って見ることは学習になるのか、それよりも放課後に先生と一人一人のやり取りをした方が効果が高いのではないかと、発達段階に適したサポートをするべきではないか、という話しが出ていました。中学生はオンライン接続を一人で全部出来ると思うのですが、小学校の低・中学年はオンラインに繋ぐだけでも、家庭の事情によって出来る出来ないの差も少し多いという話もあります。放課後に一斉で中学校のようにオンラインで繋がることも今後検討が必要ですが、個別にオンラインで繋がるというところは、取り組み始めています。
- （山内委員） 二宮町だけでなく、どの地域の学校も始めたばかりで児童生徒も学校もとても苦勞している、という情報が入ってきています。今ここで始まったということが大事だと思います。二宮高校にオンライン授業の視察をしたとき、映してはいけない子がいるなど、対応しなければいけないこともあることが分かりましたが、学校の工夫により、始動した状況を保護者の皆さんにお伝えすれば、すごく安心されるのだらうなというのが実感です。

また、放課後一人一人への対応となると、大変丁寧ですが、先生のご負担が益々増えてしまい、問題が起きないかと不安を感じます。一斉配信すればクラスの雰囲気も伝わると思いますが、どうなのでしょう。

○（教育総務課長代理） 今は午前授業で給食を食べた後に下校をしているので、いい意味で先生にある程度の時間が確保されて、落ち着いて対応が出来ていると聞いています。これが通常日課になった後も含めて日課の工夫や先生方の負担のバランスは見えていかないといけないところです。

○（野谷委員） 給食後の放課後に対応をされているということで、素晴らしいことだと思います。ですが宣言終了後でも、当然登校不安の児童生徒は出ると予想されます。田中先生のお話で、小学校の場合は授業配信が適切かどうかというのが成程と思いました。事前の実験の中で、タブレット等を置いただけでは授業の様子があまり伝わらないという結果もあります。中学生なら、ある程度教科でできると思うのですが、小学校の担任が授業を全部配信して、それが授業かというとは私にはそうではないと思います。さいたま市の小学校保護者アンケートで『オンライン授業を希望しますか、しませんか』という質問に21%が希望という結果でした。中学校は考えられるけれど、小学校については発達段階から別の方法を考えますという方がいいと思います。

もう一点、英語の授業が好きだというのが6年生で14%高いというのは、先生方の努力と二宮町の施策が大きいと考えます。理由として、他市の先生から英語の授業のある日は学校に行くのが嫌だという話や高学年を持ちたくないという先生の話を知っています。県の配当の中で、中学校の先生が一人入っています。また、二宮町の施策としてALTが配置されていることで、単独で先生が授業をするということはありませんと理解しています。二宮町の小学校では、2人でTTを熱心にやっていることで、子どもが英語の授業を好きになるのだろうなという風に考えます。

○（岡野委員） 小学校のオンライン授業についてですが、オンラインで繋がることは必ずしも授業だけが目的ではないと感じます。子どもの気持ちを学校に繋ぎとめておく働きがあると考え、一つは授業をやるというのもあり、もう一つは時間を5分、10分と決めて皆で一つの画面に集まり、楽しい雰囲気でも子どもの気持ちを掴んでおくというのが大事なのではないかなと思います。小学校で、オンライン授業を45分間ぶっ続けで実施することは集中力の面で難しいと思います。小学校と中学校で使い方が違っていきかねないかなと思います。

○（教育長） 私も今回の小中学校のオンライン授業の取り組みについては非常に驚いています。持ち帰って繋がるかどうか試してほしい、と言ったのが約一週間前です。その後、家庭のWi-Fi環境、オンラインでの注意事項を保護者から承諾証を取ったりするなどを進めているので、まだまだ先のことかと思ったのですが、実際中学校でオンライン授業の取り組みが始まっています。ただ、体育や音楽などのオンラインはどうやるのか等、まだまだ研究中でもありますので、まずは出来るところから取り組んでいこう、と思います。

また校長会や情報共有担当者会等で研究等を進めながら取り組んでもらえたらいいと思います。ただ二宮の環境は、非常に良いものがGIGAスクール担当班長の力で作っていたので、積極的に活用できればと思っています。

- （岡野委員） 先程、カメラの画角の話がありましたが、パソコンが映し出す黒板の範囲は限られていると思います。市販で画角の広いカメラもあり、360度映し出して見る方向を自分で選べるようなことも出来ます。かなり安くなっているのも、もし使えそうだなと思ったらどんどん試してみればいいと思います。
- （教育総務課長） 実は山西小学校の教頭先生がタブレットのセンターにカメラを設置し、教卓に置くと黒板全体が映る広い画角のカメラを持っています。それをどうするかという話を昨日丁度していました。もう一つは、オンライン授業はやはり負担になってしまう一方で、中学校の先生は、再び緊急事態宣言が発令され、学校が臨時休校になった場合でも、オンラインで授業ができるようにスキルアップをしておこう、という意識が高いことです。先日、二宮中学校で元指導主事の社会科のオンライン授業のデモを見ました。黒板の三分の二くらいで少し斜めの画角が映り、普通に対面授業をしていました。画角を画面で確認して板書をしながら、指導者用のデジタル教科書を画面に映して、オンラインで見ている私達にも教科書のどこをやっているのか分かるようにオンライン授業をやってくれました。カメラの広角レンズを考えなくてはと思っている一方で、スキルアップも先生は図っている状況なので、両面から進めて行ければ、と思っています。
- （山内委員） 対面授業の大切さは、特に小学生の場合、発達過程に合わせて、授業だけではなく集団で学ぶことが欠かせないことは、とてもよく分かります。一方で、だからと言って休校時に家で課題だけをしていてもいいのか、というところを考えると、対面の授業の方がいいに決まっていますが、何か代替の工夫を、と思います。コロナ渦の今、世界的に今はオンライン授業は行われています。小学校の先生の理想とする授業からは程遠いと思いますが、それでも何かする姿勢を見せることが大切だと思います。45分授業をする、と限定するのではなく、何か一歩でも半歩でも前に進むことが大切だと思います。
- （教育長） 先生も一生懸命研究していると思うので、もうしばらく様子を見ていただき、良いアイデアがありましたら教えていただけるとありがたいです。

#### 4 付議事項

##### (1) 議案第11号 令和3年度二宮町一般会計補正予算（第7号補正）について

（教育部長）令和3年度二宮町一般会計補正予算（第7号補正）について資料に基づいて説明

— 非公開 —

#### 5 報告・協議事項

##### (1) 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について（速報）

(教育総務課長代理) 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について資料に基づいて説明。

- (教育長) 細かな分析は、次回ということによろしいですか。
- (教育総務課長代理) 今、分析をしています。町のホームページでも公開していこうと思います。
- (山内委員) ほぼ平均値ですが、毎年小学生は全国平均より低く、中学生になると上がるという傾向を見てきた記憶があります。なぜ中学生になると上がるのか、原因は分析に出ますか。
- (教育総務課長代理) 考察はしてみたいと思います。望ましいのは、小学校も中学校も高い方がいいと思います。傾向として、小学校は例年平均より少し低くなっています。
- (野谷委員) 文部科学省からは、学力テストに対応した指導はしてはいけない、普段の実力である学力を図るものだ、ということを学力テストが開始された当初から言われていました。一方、今回調査の県の比較で小学校の学力調査問題について、学習指導要覧の理解を深めるため校内研修や授業で対応している、というのが神奈川県の場合は28.2%で、全国65.0%です。3月、4月はほとんど学力状況テスト対策をやっている都道府県もあると聞いています。結果だけで神奈川県、二宮町の子どもが低いというのでは違うのではないかと思います。平均くらいだったらよしとするくらいの方がいいのではないかと思います。
- (教育長) 国語の文章を読み取る力はとても大事で、助詞や接続詞などの意味が分からず、文章全体が分からなくなってしまうことがあると思います。小中一貫教育でリーディングスキルを導入した場合、4年生でウィークポイントを発見したら、5年生で徹底的にやり、5～7年生あたりの接続に注力出来ます。私も小学生を指導したことがあり、3～4年生での発達の度合いはすごく大きく、5～6年生だと遅いです。国語の文章を自分で読んで、考えて、自分の意見をつくるという小中一貫教育でやっている主体的対話的に自分で考える、読み取るといった力を付けるためにも、言葉や文字一つによって対話が違ってしまわないように、是非そんな力を付けさせてもらえたらなと思って、指導主事からリーディングスキルテストの導入について、少し検討したいということでは言っていました。
- (渡辺委員) 小学校では、毎週火曜日の朝の会に本を読むという読書の習慣を定着するような働きかけがあります。例えば3年生で文字を読むことが出来ない子がいると、他の子が自分の好きな本を選んで読んでいる時間の中では読めない訳です。ではそのクラスでどのようにその子が過ごしているかという、読めない子は皆が読んでいる間に何もできずに待っているという状況があるのかなというのが気になっています。そういう時に支援の先生が入って、読み聞かせが出来る、一緒に読むといった時間出来るなど、本を自分で読むというところが少し遅れてしまっている子への何か対応が出来たらな、と

今の話を聞いていて思いました。

- （岡野委員） 中学校の数学が 61%で4%くらい高い要因を考えた時に、得意な子と不得意な子の差が開いてしまっているのではないかと感じました。得点を引っ張り上げている要因を考えた場合、読解力が苦手な子どもたちが多いことを考えると、読解力があまり必要のない反復学習で補えるような部分が、点数を引っ張って押し上げているのではないかと思いました。得点の内訳で全体の分布がどのように風に散らばり、小学校から中学校に行くにつれてどう分布が広がっていくのか、得点を引っ張っている分野は何なのか、下に引き下げている分野はどこなのかを是非知りたいと思います。本当に考えて咀嚼するというのが多分物凄く苦手なのかなと依然として感じるのです、それをどうするのか対策を考えなければいけないと思います。
- （教育長） 次回、各学校のそれぞれの細かな特徴を出してもらうことは出来るのでしょうか。
- （教育総務課長代理） 学校ごとですか。
- （教育長） 町全体でもいいです。
- （教育総務課長代理） 学校ごとでは校長会や学校でも自校の分析を図っているところですよ。
- （岡野委員） 書類上は学校ごとにやるのでしょうか、まとめる時は全体でお願いします。
- （山内委員） 小学校6年生と中学校3年生というこの調査時期で感じる事が有ります。最近の状況では、小学校の最終学年あたりで塾に行き始めるケースが多いようです。授業で分からない子が取り残されてはいけないと思うので、ぜひそこを学校で補ってあげられるような仕組みになるといいなと思います。
- （教育長） 正に小中一貫教育で一人も取り残さないという中で、子どもが授業の中で自然に『そこが分からない、教えて』と言えるようなところを今やろうとしていますので、これが成就すれば、もっと二宮の子どもたちが伸びていくと思います。先生だけでなく、皆でサポートして、この道を底上げしていくことが出来ればと思っています。

## （2）小中学校の2学期の状況について

（教育総務課長代理）小中学校の2学期の状況について資料に基づいて説明。

- （教育長） 担任自体も変えたのですよね。
- （教育総務課長代理） 担任を変えて、ベテランの先生が担任となっています。
- （野谷委員） 一色小学校5年生ですが、9月から学校運営改善の非常勤が付き、教育長を始め教育委員会の職員が力を注いでくれたおかげです。子どもたちが今落ち着いてきていることは非常に嬉しいです。担当の先生も立派な方ですが、立派な先生がずっと付いていたことに安心しないで、必ずそういう苦しい状況は起きるといようなことを考え

ていないと厳しいのではないかと考えています。

- （山内委員） 学校行事が無くなっている状況で子どもの落胆する声をよく耳にします。二宮中学校では合唱コンクールが無くなり、二宮小学校では音楽会が開催されるか分からないと聞いています。出来れば何か工夫した形で実施する方向になることを希望します。ば、一クラスずつ動画を撮り、その動画でコンクール審査をするなどの方法もあると思います。セッティングするのは大変ですが、一生に一度しかない学校生活なので行事が無くなったというよりも、いつもと違ったけれど、あんなやり方したよね、と記憶に残って欲しいなと思います。

また、子どもの生活の中にイベントが無く、家族旅行に行くことも出来ず、二年前と比べると家に籠っていることが多い現状です。やはり子どもは何かに向かって行くときに大きく成長するものです。学びの場のイベントは、工夫して、出来るだけ実施して欲しいというのがお願いです。

- （教育長） 私も山内先生に電話でどんな方法があるのか伺わせていただき、8月25日の校長会で紹介をさせていただいておりますので、それぞれの学校で工夫して、活用していると思います。クラスを分散して発表会をする、以前に撮影したものを投影して保護者に見ていただくなど工夫してやっています。

### （3）その他

（教育総務班長）神奈川県配布の抗原検査キットについて説明。

- （岡野委員） 9月2日の令和3年度市町村教育委員会オンライン協議会に参加しました。そこで、二宮町のICT環境について誇らしい気持ちになりましたので、その報告をさせていただきます。

教育の情報化に関する分科会では、他の市町村のICT環境整備が話題になっていました。特に、一人一台体制の充実化では、二宮町のICT環境が他の市町村に比べてそんな色なく、むしろ他に先駆けて、誇れる体制が整っていることを感じました。

PCやタブレットは、Windows PC、AppleのiPad、GoogleのChrome bookの種類があるのですが、Windows PCを導入したところは「起動が遅くて授業で使い物にならない、Chrome book にしておけば良かったと後悔している」、「生徒数十人がネットワークに同時に接続すると回線が突然遅くなる」とのコメントがありました。カメラ機能が無効にされている、外部ネットワークにまったく接続できない事例もあるようです。

それに対して二宮町は、Chrome bookの立ち上がりも早く、ネットワークの遅さもない、カメラは使えるし、必要な外部ネットワークにも接続できる。小学校低学年はiPadで使い方に慣れて、ローマ字を習う三年生からはChrome bookに切り替える。他の市町村が悩んでいることをことごとくクリアしていて、さらには学習の進みに合わせてハードウェアを戦略的に使い分けています。そんなことを実感して、とても誇らしい気持ちになりました。

した。分科会の最後には他の市の教育委員さんから「岡野さんは “神奈川県” 二宮町ですよ」と念押しされる場面もありました。

ここまで粘り強く ICT 環境整備に取り組んでくださった教育委員会に感謝したいと思いました。また、その成果に自信をもっていたきたいと感じています。ありがとうございました。

- （教育長） 去年はまだ Zoom を使ったことも無くて、研修をしながら一つ一つ勉強をしていました。今ではオンライン会議も普通にやっているように見えますが、まだまだ知らないことがたくさんあって、子どもたちも学校も同じような状況かと思います。その中でも新しい事を学びながら学校教育が一步でも二歩でも先に進んでいければと思っております。ただ機械に頼るだけではなく、どうしてもフェイストゥフェイスが必要でマスクを外して、という要望もありました。園の方針で、子どもは顔の表情を見ることが大事だと言っていた幼稚園でクラスターが起こり、何十人も感染する事例もありました。アメリカでは 8 月 26 日から 9 月 2 日までの一週間で子どもの陽性者が 25 万人に上り、子どものデルタ株の感染は増えている状況です。フロリダでは、教職員 13 人が亡くなり、校内マスク着用を義務付けていなかったことがありました。マスク着用で酸素の供給量が少なくなるのではないかと心配する声もありますので、先生も外での体育授業は外していないよと言いつつも、対面で話をする時にはマスクを付ける、鼻をずらさないなどの指導を学校はしているところです。クラスターが起こってしまうのは仕方ないのですが、出来る限り起こしたくないと思っておりますので、学校の先生には注意喚起をしているところです。
- （教育総務課長代理） 『間違えない GIGA スクール』は、総合教育技術という教員向けの雑誌で掲載されました。二宮西中学校の新井教頭先生が、町と二宮西中学校でやることを取材で答え、掲載されました。雑誌の編集者が二宮町の GIGA スクールが進んでいるらしいという情報を得て、教育委員会に相談があり、二宮西中学校を紹介させていただきました。国の GIGA の取り組みで著名な堀田先生から、とてもよく取り組まれている、という内容をコメントとしていただいておりますので、お読みください。

#### － 次回教育委員会予定 －

（教育総務班長） 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

11 時 32 分 閉会